

雑談を大事にする

コロナ禍の中、リモート等で仕事上のコミュニケーションをとるのもままならない状況だと思えますが、仕事のためのコミュニケーションだけでなく、雑談も大事なコミュニケーションではないかと思えます。この時期にあらためてこのことを考えてみてはいかがでしょうか。

ことあるごとに、自分の考え方を部下に話すことを心がける。それを雑談の中でさりげなく伝えていく。雑談の中だと双方リラックスしているため、言われた言葉がストンと自分の心の中に入り込み、その言葉は意外と忘れず覚えているものです。私もこれまで出会った上司との雑談の中で得たものは沢山あり、頭に残っています。時々そうした事例を研修や後輩との会話の中で話しています。

考え方を伝える内容は

- 仕事のやり方や仕事に対する考え方
- 仕事とはなにか！
- 人間とはなにか！
- 結婚とはなにか！
- 家族とはなにか！ 等々



自分の人生観や人生哲学まで幅広く

そこで初めて部下は上司の哲学(仕事のあり方、考え方、想い、進め方)を認識し、仕事に生かすことができるようになっていきます。

部下が失敗した時や問題が起きた時に懇々と言い含めることも大切なことですが、部下が失敗する前に、失敗をさせないような考え方、やり方を管理者やリーダーが手本を見せながら指導していくよう心がけることです。

「人が大事、部下が大事」を基本に語りかけていくことが、部下を育てていくことに繋がるのではないのでしょうか。リモートやリアルな対話時に、このことを頭に入れて部下と向き合ってみてはいかがでしょうか。

長嶺 堅二郎

